



県議会ふくしま

12月定例会の概要(12/4〜12/19開会)

第76号

【企画・編集】
福島県議会広報委員会



ふくしまからはじめよう。

〈広告〉

手話言語条例や補正予算など 94件の議案を可決!

補正予算の主な内容 総額33億8,700万円

(新) 県立学校空調設備整備事業 9億7,059万円

児童生徒の健康管理と安全を確保するため、県立学校に空調設備を整備

ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業 6,073万円

県産農林水産物の販売力の更なる強化に向けて、沖縄県の小売店における販売フェアや、オンラインストアにおける販売促進等を展開

(新) ほんしめじ産地化促進事業 1,031万円

オリジナル品種「ふくふくしめじ」の産地化や販売を促進するため、旨みや機能成分のデータ化、飲食店への調査等を実施

2020東京オリンピック・パラリンピック関連復興推進事業 972万円

開幕500日前に当たる今年3月に県民参加型の競技体験イベントを開催

Jヴィレッジ復興再整備事業 1,181万円

今年4月の全面再開に合わせて、本県の復興の姿を国内外に発信するための記念イベントを開催

12月定例会では、知事提出議案として、33億8700万円に上る一般会計補正予算など予算に関する議案11件、平成29年度決算関係議案5件、「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい福島県づくり条例」や「福島県手話言語条例」など条例に関する議案22件、「公の施設の指定管理者の指定について」などその他の議案47件、議員提出議案として「私学助成の充実強化等に関する意見書」など9件、請願は「猪苗代湖の水質保全を求める意見書の提出について」など11件を、それぞれ可決・同意・認定・採択しました。

定例会での主な質疑

2期目の県政運営

【質疑】 知事は、2期目の県政運営をどのように行っていくのか。

【答弁】 現場主義を自分の真ん中に置き、復興五輪で「可能性の地」福島の魅力を広げ発信できるように復興・創生期間後も切れ目なく安心感を持って取り組める体制や財源確保に力を尽くす。また、福島ならではの地方創生に積極的に取り組む、県民の皆さんがより一層復興・創生を実感し、希望と誇りを持って「新生ふくしま」の実現に向け全身全霊で県政を運営していく。

防災・減災への取り組み

【質疑】 県民の命を守る防災・減災にどのような取り組みをすすめているのか。

【答弁】 ハード・ソフトの両面から地域の防災力の向上を図るとともに、住民による防災マッパ作成などの支援に取り組んでいる。さらに、市町村長を対象に災害時の初動対応などについて学ぶ「ふくしま防災塾トップ59」を開催するなど引き続き、自助・共助・公助が一体となった施策を総合的に推進していく。

オリンピック・パラリンピックでの情報の発信

【質疑】 東京オリンピック・パラリンピックにおいて復興に向けて歩み続ける本県の元気な姿を国内外に発信すべくと思うが、知事の思いを尋ねる。

【答弁】 本県は、聖火リレーのスタートの地、五輪全体の最初の試合の地であり、極めて重要な役割を担うこととなる。県民の皆さんや国内外から来県される方々が笑顔で応援できるように開催準備を進めながら、復興を更に加速させ、着実に歩み続ける本県の姿の発信に向け関係団体と共に全力で取り組んでいく。

不登校・いじめの対応

【質疑】 公立学校において不登校やいじめを把握した時点で適切に対応すべきと思うが、考えを尋ねる。

【答弁】 児童生徒のサインを見逃さない校内体制整備、把握時の速やかな聞き取りなどの丁寧な初期対応が重要であり、全ての公立学校で具体的事例を基に継続的に演習を実施している。不登校やいじめに對して、各教員の力量を高め、チームとして切れ目のない援助を行うことにより、児童生徒が抱える問題に組織的かつ確実に対応していく。

新年度当初予算編成

【質疑】 平成31年度当初予算編成に向けた知事的基本的な考え方について尋ねる。

【答弁】 11の重点プロジェクトを中心とする戦略的かつ効果的な事業構築を進め、県全体の復興をしっかりと加速させていく。また、地方創生に向けた施策を積極的に展開していくとともに、県民

復興・創生の推進

【質疑】 国内外の社会的発展に寄与できるように、本県の復興・創生をどのように進めていくのか。

【答弁】 これまでも本県の復興・創生の取り組みや福島発の先進的なプロジェクトを積極的に発信してきた。今

健康長寿県に向けた推進体制

【質疑】 全国に誇れる健康長寿県の実現に向けた今後の推進体制について尋ねる。

【答弁】 県民の健康増進に關し専門性の高い団体等と共働し、新たな推進組織を立ち上げ、知事が先頭に立ち健康づくりの企画、実践、評価を一体的に進めるなど、これまで以上に強力かつ効果的に県民の健康づくりに取り組む、全国に誇れる健康長寿県の実現に向け積極的に取り組んでいく。

議会構成の変更

10月の補欠選挙で丹治智幸、三村博隆、渡部信夫、先崎温香、佐々木彰の5議員が選出されたことにより、議員数は定数の58人となり、会派構成は次の通りとなった。

自由民主党	29人
県民連合	20人
日本共産党	5人
公明党	3人
ふくしま未来ネット	1人

内堀知事が2期目の所信を表明



2期目の所信表明

12月4日、内堀雅雄知事が本会議で2期目の所信表明をする



決算審査特別委員会

平成29年度決算を認定

とともに、一般会計補正予算や条例改正などの提出議案の説明を行った。

常任委員会が審査調査を実施

12月13日、14日の2日間、6常任委員会がそれぞれ所管する部局等に係る議案の審査及び一般的事項に関する質疑を行った。



千五沢ダムを調査する土木委員会

9月定例会で設置した決算審査特別委員会満山喜一委員長は、会期外の10月、11月に本庁、出先機関の審査を実施した後、12月12日、委員会を開催し、決算に対する意見書を取りまとめ、関係議案の採決を行った。
19日の本会議では、委員長が審査経過及び結果を報告した後、「アンソリウム」のポリエステ

6議員に永年勤続表彰を伝達



永年勤続功労者表彰の伝達

12月4日の本会議で、吉田栄

ル培地栽培等を、土木委員会は、石川町で千五沢ダム再開発事業等を調査した。

光議長が全国都道府県議会議長の永年勤続功労者表彰(在職15年以上)の伝達を行った。受賞した議員は次の通り。

- 阿部裕美子(伊達市・伊達郡)
- 杉山 純一(大沼郡)
- 満山 喜一(白河市・西白河郡)
- 柳沼 純子(郡山市)
- 渡辺 義信(白河市・西白河郡)
- 亀岡 義尚(伊達市・伊達郡)

議員勉強会を開催

12月7日、厚生労働省福島労働局長の森戸和美氏を講師に迎え、県内の雇用・労働市場の動向や働き方改革について学んだ。



議員勉強会

鈴木副知事の再任に同意

12月19日、知事から追加提出された鈴木正晃副知事を再任する議案に全会一致で同意した。

可決した国への意見書・決議

(意見書は平成30年12月19日、国へ提出)

- 1 私学助成の充実強化等に関する意見書
- 2 風評払拭対策の更なる強化を求める意見書
- 3 東京電力福島第一原子力発電所における廃炉作業の着実な進展を求める意見書
- 4 無戸籍者問題の解消を求める意見書
- 5 猪苗代湖の水質保全のための諸施策の推進を求める意見書
- 6 認知症施策の推進を求める意見書
- 7 Society5.0時代にに向けた学校教育環境の整備を求める意見書
- 8 商業捕鯨再開を求める意見書
- 9 国際リニアコライダーの誘致実現を求める決議

採択した請願 (意見書、決議を求めるものを除く)

- 1 私立小・中・高等学校に対する運営費補助金の充実を求めることについて
- 2 保護者納付金(授業料)の公私間格差の是正を求めることについて
- 3 私立幼稚園・認定こども園における幼児教育に対する教育費の負担軽減を求めることについて
- 4 「幼稚園教諭・保育教諭の処遇改善」「心身障がい児教育」「子育て支援推進事業」の助成充実並びに「被災私立学校復興支援事業」の継続を求めることについて
- 5 私立専修学校運営費助成金及び振興助成金の充実を求めることについて
- 6 就学支援事業補助金の充実と専門学校生の教育費負担軽減に向けた就学支援措置の創設を求めることについて
- 7 職業実践専門課程認定校に対する助成金の新設を求めることについて
- 8 特別支援を必要とする生徒への教育事業助成金(高等課程対象)の新設を求めることについて
- 9 少子化時代に対応する公立高等学校募集定員比率の再検討を求めることについて

お知らせ

- ◆平成31年2月定例会は、2月14日(木)開会の予定です。
- ◆ご意見・ご感想をお寄せください。
TEL:(024)521-7608
FAX:(024)521-7965
メール:gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
- ◆詳しい情報は

→

携帯からは



- ◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル(YouTube)」もご覧ください。
- ◆県議会インターネット中継(生中継・録画中継)がスマートフォンやタブレット端末でご覧いただけるようになりました。